

絵本を読みあいませんか？

読み合いとは・・・
子どもと大人と一緒に本・物語を楽しみ、
気持ちと行動の共有をしていくこと

『ぽん ちん ぱん』（リズム・食べ物絵本）

福音館書店 柿木原 政広 作

「ぽんちんぱん」と繰り返し出てくるリズムを楽しむことができる絵本です。



【さくらの木保育園の子どもたちの姿】

「どのパンを食べようかな？」などとお気に入りのパンを選び食べる真似をして楽しんでいます。1歳児クラスの子どもたちも「ぽんちんぱん」のフレーズが大好きで、保育者が口ずさむ「ぽんちんぱん」に合わせて声を出して一緒に読む姿が見られます。



おうちでの読み方ポイント

例えば 食事でパンを食べる際・・・『ぽん ちん ぱん』
に出てきた食パンと同じだね」と会話をしたり、
お買い物の際・・・『ぽん ちん ぱん』の
ロールパンと同じパンが売っているね」などと
話したりしてみましょう！

「同じ」を見つけることは、子どもたちの生活の中での
大きな発見です。その日々の生活での発見が子どもの学びや
育ちへつながっていきます♪

子どもが発見したことを大人も一緒に「同じだね！」と
「同じ」を見つけた喜びを共有していきたいですね。



生活の中で得た知識を誰かに言葉で伝え、共感共有し合うこと

＝これこそが「子どもにとっての遊び」です。

この「子どもにとっての遊び」が「子ども自身の生きる力」になっていく
とされています。たくさん共感共有しあうことで、「子ども自身の生きる力」
を育みたいですね！



『たのしい どうぶつ ずかん』 (図鑑・動物の絵本)

ナツメ社 今泉 忠明 監修

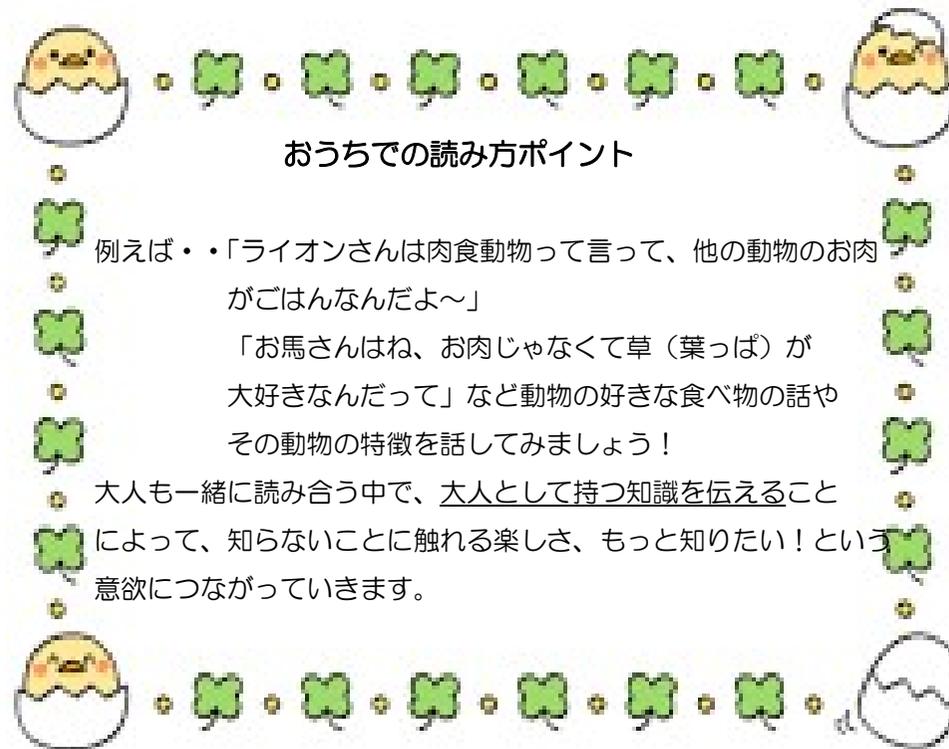
見たことがある動物を探して楽しんだり、鳴き声を真似して楽しむことができる絵本です。



【さくらの木保育園の子どもたちの姿】

乳児クラスの子どもたちは、たくさんの動物の中から、好きな動物を見つけ指差しをしながら保育者と一緒に楽しんでいます。乳児クラスにある絵本ですが、幼児クラスの子どもたちも「これ貸してー」と言うほどの人気の絵本です！

幼児クラスになると、「ペンギンは飛べると思う？飛べないと思う？」などとクイズを出し合いながらお友達と読み合う姿も見られるようになっています。



おうちでの読み方ポイント

例えば・「ライオンさんは肉食動物って言って、他の動物のお肉がごはんなんだよ～」

「お馬さんはね、お肉じゃなくて草（葉っぱ）が大好きなんだって」など動物の好きな食べ物の話やその動物の特徴を話してみましょう！

大人も一緒に読み合う中で、大人として持つ知識を伝えることによって、知らないことに触れる楽しさ、もっと知りたい！という意欲につながっていきます。



大人が絵本を選ぶとき・・・

「数に触れてほしいな」「マナーを理解できるようになってほしい」様々な思いから教育的な面を重視する傾向もありますが・・・

本を読むこと⇒子どもたちにとっては

「ためになるから読む」ではなく

「ただ楽しいから読む」でOK！

「もう一回読んで！」と子どもが言える本が見つかり、それを繰り返し楽しむことが絵本を好きになるきっかけに・・・

絵本を楽しんだ結果・・・読書が好きになったり

知識が豊かになっていったりしていくのですね♪

子ども達と一緒に絵本の世界を楽しんでみてはいかがでしょうか😊



